

京都の夏　祇園祭　後祭

◆　宵　　山　2015.7.23.夕

◆　山鉾巡行　2015.7.24.

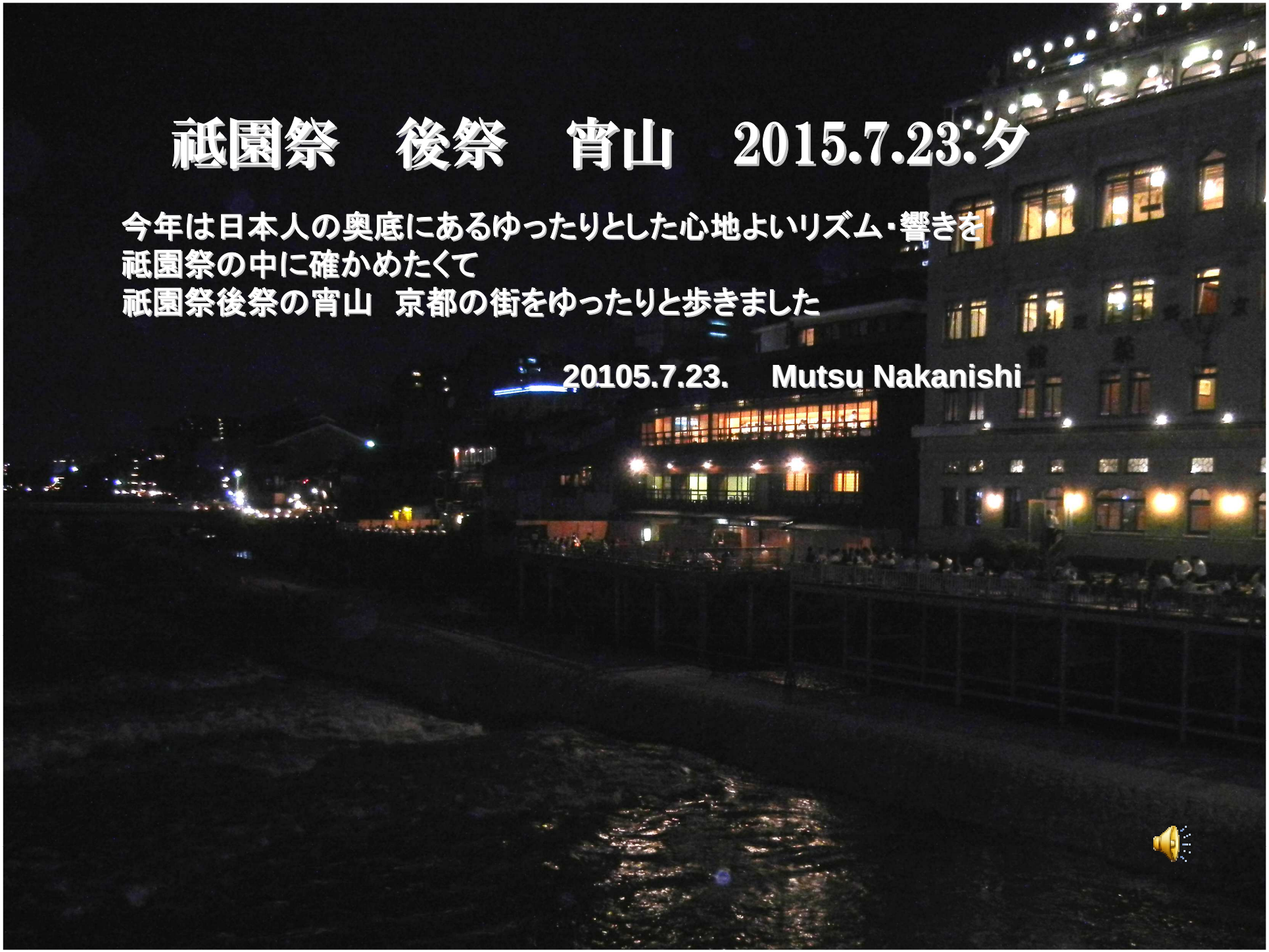
日本人の心のルーツ優しき縄文が京都に今も生きている
祇園祭のお囃子もそうか・・・・と　ふと思い立って
日本人誰しもが　奥底に持っている心地よい縄文のリズム・響きを
祇園祭の中に確かめたくて　祇園祭後祭の街をゆったりと歩きました



「コンコンチキチン　コンチキチン」
祇園囃子の音がどこからか京都の家並にかすかに流れてくる
ただ、それだけで　心地よい
京都に多くの人が惹かれるのも
京都には今も随所にこの心地よい響き・リズムが残っているからかと

いつ訪れても　京都の街には　そんな発見がある
京都の街に惹かれるゆえんか・・・・

10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾


祇園祭　後祭　宵山　2015.7.23.夕
今年は日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム・響きを
祇園祭の中に確かめたくて
祇園祭後祭の宵山　京都の街をゆったりと歩きました
20105.7.23.　Mutsu Nakanishi

「コンコンチキチン　コンチキチン」　祇園囃子の音が
静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる



私は　「心優しき日本人の故郷　縄文」とよく言うのですが、
ふと　祇園街　祇園囃子は縄文の響き･リズム　日本人の故郷ではないか…と

雑踏の中で見る大文字の無音の炎
巨木芦生台杉の生命力を育んだ北山杉の森
街のざわめきの中で聞く賀茂川の流れ
街中に点在する神社仏閣の神域空間の音
職人さんたちの下駄の音が街に響く寒い朝
等々にも

京都に多くの人が惹かれるのも
この日本人の奥底にある響き･リズムが　京都には今も随所に残っているからかと

青森三内丸山遺跡のお月見で聞いた縄文
真っ暗な中　岩木川沿いを郷に帰る弘前ねぷたの笛の音
そんな昔からの心地よいリズム･響きが祇園囃子にもある。

今年はそんな日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム･響きを
祇園祭の中に確かめたくて　　祇園祭後祭の宵山　京都の街をゆったりと歩きました

20105.7.23.　　Mutsu N akanishi


祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.


祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



祇園祭後祭　宵山　　大船鉾の鉾町へ　　2015.7.23.夕

前祭の宵山から比べると人出ははるかに少なく、ゆったりと鉾町を歩け、
祇園祭りの風情をゆっくり楽しめるのがうれしい。
昨年から復活した祇園祭の後祭　祇園祭りの新しい楽しみの発見です


祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.







祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.


祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



町家の屏風祭をのぞき込む人たち　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

「コンコンチキチン　コンチキチン」
祇園囃子が流れる鉾町　町家の屏風祭

祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.













「コンコンチキチン　コンチキチン」
祇園囃子が流れる鉾町
町家の屏風祭

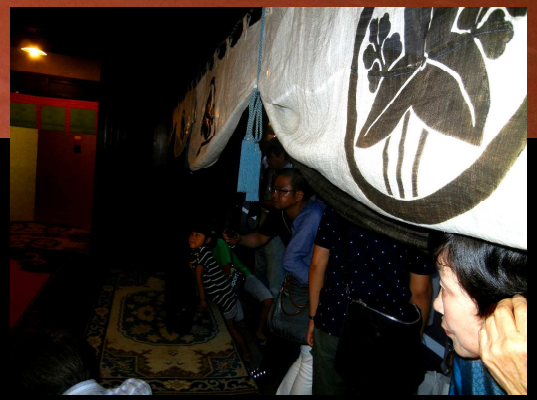
祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



祇園囃子が流れる鉾町　町家の屏風祭　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.







祇園囃子が流れる鉾町　町家の屏風祭
祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.


祇園囃子が流れる鉾町　町家の屏風祭
祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.


祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.


祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.


祇園囃子が流れる鉾町　町家の屏風祭　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

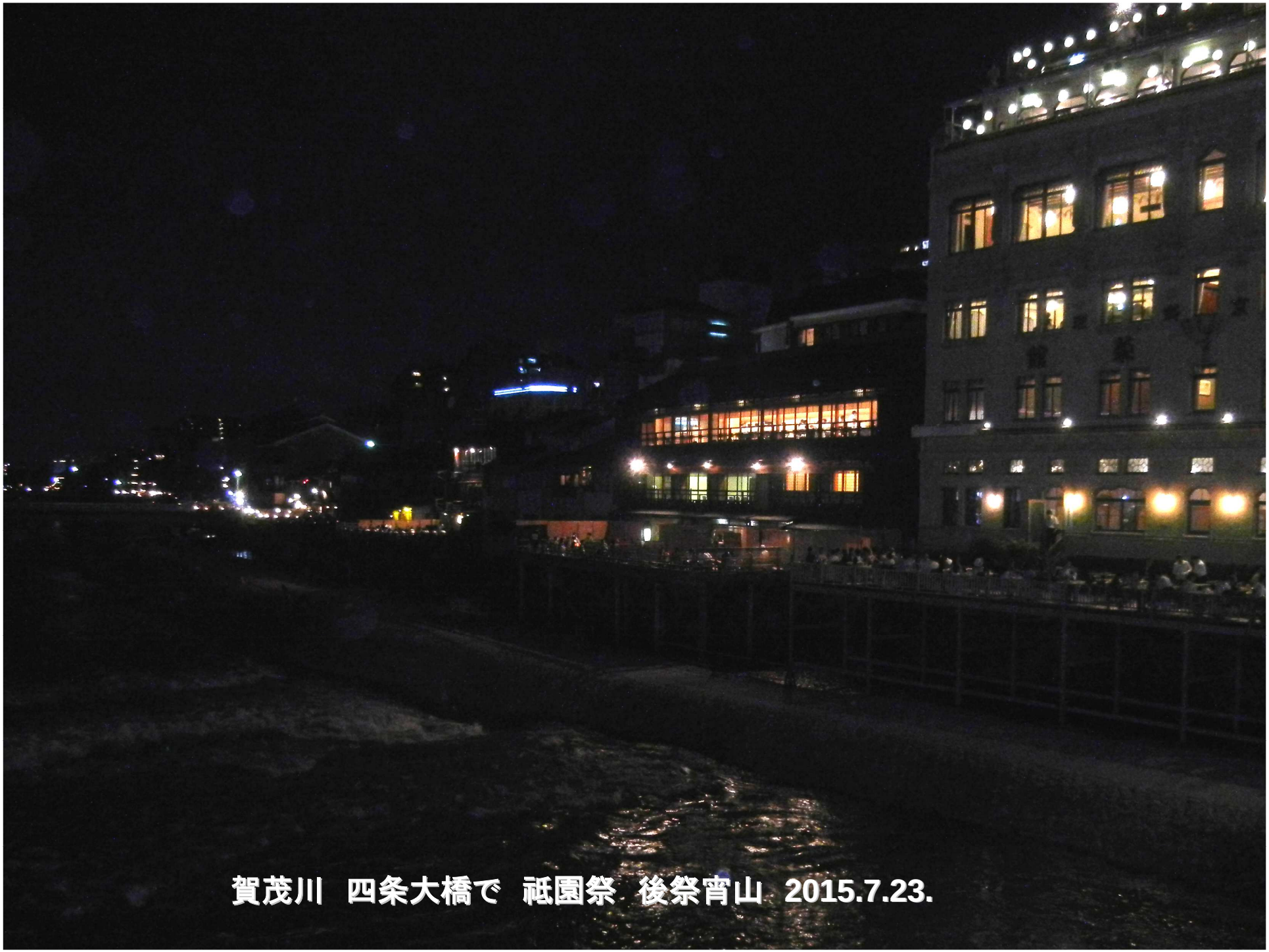

祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.


祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.


祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



賀茂川　四条大橋で　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



四条通　四条大橋　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



「コンコンチキチン　コンチキチン」
祇園囃子の音が　静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる

ふと これは日本人の故郷 縄文の響き･リズムではないか･･･と

日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム･響き
京都に多くの人が惹かれるのはこの日本人の奥底にある響き･リズムが今も残っているからと



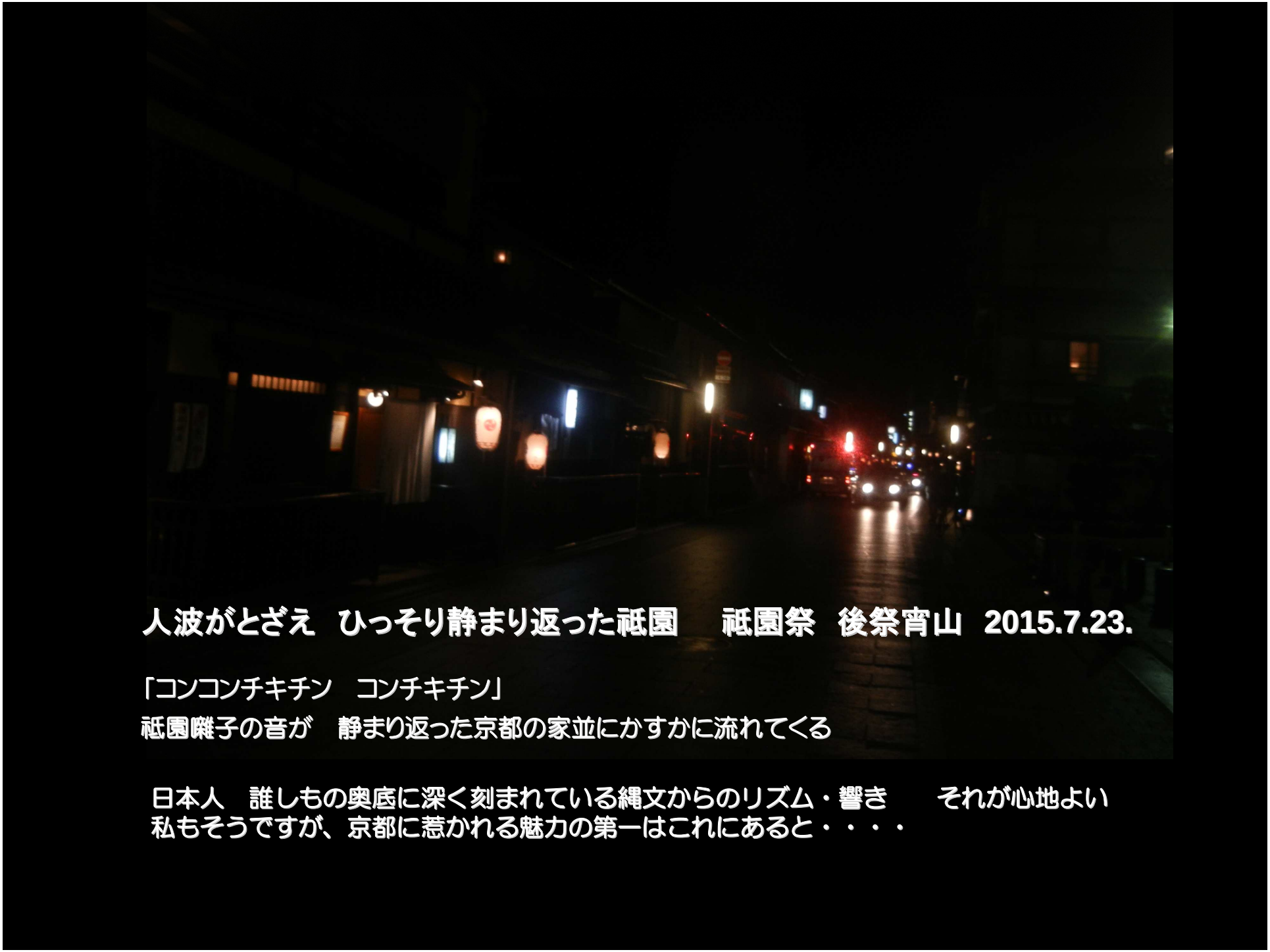
人波がとざえ　ひっそり静まり返った祇園　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



人波がとざえ　ひっそり静まり返った祇園　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



人波がとざえ　ひっそり静まり返った祇園　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.



人波がとざえ　ひっそり静まり返った祇園　　祇園祭　後祭宵山　2015.7.23.

「コンコンチキチン　コンチキチン」
祇園囃子の音が　静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる

日本人　誰しもの奥底に深く刻まれている縄文からのリズム・響き　　それが心地よい
私もそうですが、京都に惹かれる魅力の第一はこれにあると・・・・

「コンコンチキチン　コンチキチン」　祇園囃子の音が
静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる



私は　「心優しき日本人の故郷　縄文」とよく言うのですが、
ふと　祇園街　祇園囃子は縄文の響き･リズム　日本人の故郷ではないか…と

雑踏の中で見る大文字の無音の炎
巨木芦生台杉の生命力を育んだ北山杉の森
街のざわめきの中で聞く賀茂川の流れ
街中に点在する神社仏閣の神域空間の音
職人さんたちの下駄の音が街に響く寒い朝
等々にも

京都に多くの人が惹かれるのも
この日本人の奥底にある響き･リズムが　京都には今も随所に残っているからかと

青森三内丸山遺跡のお月見で聞いた縄文
真っ暗な中　岩木川沿いを郷に帰る弘前ねぷたの笛の音
そんな昔からの心地よいリズム･響きが祇園囃子にもある。

今年はそんな日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム･響きを
祇園祭の中に確かめたくて　　祇園祭後祭の宵山　京都の街をゆったりと歩きました

20105.7.23.　　Mutsu N akanishi

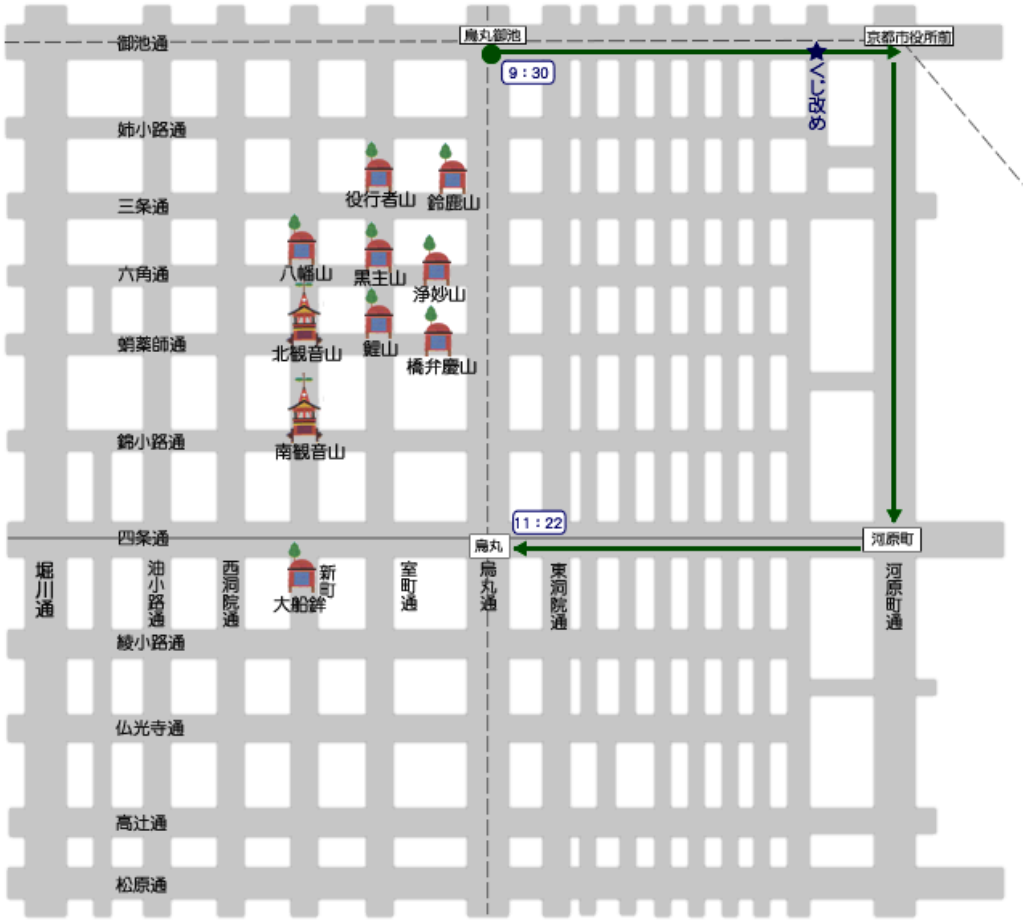


昨年から復活した後祭の山鉾巡行。　巡行しんがりを務める新しく復元された巨大な大船鉾が街中を巡行してゆく姿がが素晴らしく、眼に焼き付いています。
「今年はもう　巡行を見るのはやめよう」と思っていましたが、
その姿は　まさに諏訪や伊勢神宮の御柱祭の御柱を引く様か‥‥。日本の祭りの原点。
「やっぱり巡行する大船鉾の姿を見よう。」と後祭の山鉾巡行を見に行きました。

山鉾巡行のハイライトと言われる巡行角での辻廻しは昨年見たので　今年はパス。

山鉾が祇園囃子に合われて　ゆっくり動く姿も本当に美しい。　雑踏の中ですが、気持ちのいい空間でした。

祇園祭　後祭　山鉾巡行順番　2015.7.24.



1番：**橋弁慶山　[心身強健]**
五条大橋で牛若丸と弁慶が刀を交える
有名なシーン

2番：**北観音山 [疫病除け]**
天水引は雲龍図と金地唐草を使用
百子図綴錦は優品

3番：**役行者山 [疫病除け]**
左右のご神体の背後にある二本の
朱傘が特徴的

4番：**八幡山 [夜泣き封じ]**
木彫りの鳩が鳥居の上で向かい合う
夫婦円満のしるし

5番：**鈴鹿山**[盗難除け/安産]
ご神体は山鉾随一の美女と誉れ高い
鈴鹿権現

6番：**南観音山 [疫病除け]**
山後部から垂れ下がる柳の枝は
疫病除け、龍の目は宝石

7番：**鯉山 [立身出世]**
龍門の滝を昇りきった鯉は龍になるという
中国の伝説に取材

8番：**黒主山 [盗難除け/泥棒除け]**
大判黒主が大きく反って滋賀の山桜を
仰ぐ姿を表現

9番：**浄妙山[勝負運]**
一来法師が筒井浄妙に先んじようとする
一瞬を人形組みで表現

10番：**大船鉾 [安産/勝負運]**
船鉾は神功皇后の出陣を表し、大船鉾は戦勝凱旋の船を

巡行の出発点　御池通に出るともう巡行が始まっていました

昨年もそうでしたが、前祭に比べると人波ははるかに少なく、本当に真ん前で
素晴らしい装飾品で飾り付けられた山鉾の巡行する姿を見られるのがいい。

巡行一番の橋弁慶（くじとらず）が先の方にいる市役所前の方へ・・・・・









6番：南観音山［疫病除け］山後部から垂れ下がる柳の枝は疫病除け、龍の目は宝石



5番 : 鈴鹿山[盗難除け/安産] ご神体は山鉾随一の美女と誉れ高い鈴鹿権現

巡行の出発点　御池通に出るともう巡行が始まっていました　2015.7.24.



6番：南観音山［疫病除け］　大勢の人で引く様は山から切り出した巨木を引くようだ



6番：南観音山［疫病除け］　大勢の人で引く様は山から切り出した巨木を引くようだ



眼の前を3番：役行者山 ・ 4番：八幡山 が巡行してゆく

６番南観音山の後ろを　７番鯉山 中国故事登竜門の鯉がご神体　飾り付けは重文のタペストリー









7番：鯉山［立身出世］中国故事登竜門の鯉がご神体　飾り付けは重文のタペストリー



8番：黒主山［盗難除け/泥棒除け］大判黒主が大きく反って滋賀の山桜を仰ぐ姿を



8番：黒主山　大判黒主が大きく反って滋賀の山桜を仰ぐ姿を表現



いよいよ最後 10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾がやってきた



10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾



10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾









10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾



10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾


10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾



10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾



10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾



10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾



10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾　　御池通り市役所前



御池通に山鉾がそろい　くじ改め・河原町通への辻廻しへと向かってゆく



市役所前で　くじ改め・河原町通への辻廻しへの順番を待つ大船鉾



市役所前で　くじ改め・河原町通への辻廻しへの順番を待つ大船鉾



大船鉾の前で順番を待つ　9番：浄妙山[勝負運]
一来法師が筒井浄妙に先んじようとする一瞬を人形組みで表現



大船鉾の前で順番を待つ　8番：大黒主山



先回りして　河原町を巡行する　一番　橋弁慶山　二番　北観音山を見る



一番　橋弁慶山　[心身強健] 五条大橋で牛若丸と弁慶が刀を交える



河原町通を巡行する　2番：北観音山［疫病除け］
天水引は雲龍図と金地唐草を使用　百子図綴錦は優品





河原町通を巡行する　2番:北観音山



河原町通を巡行する　2番:北観音山





四条河原町から寺町通へ入って行く花傘巡行が四条河原町を通過中

四条河原町の交差点はこの花笠巡行と山鉾巡行の辻廻しを見る人で一杯
四条交差点や四条通の巡行はもう見なくても十分と地下に潜る



祇園祭　後祭　山鉾巡行　2015.7.24.

本年は辻まわしをパスしましたが、じっくり楽しみたいのには　後祭がおすすめ
昨年もそうでしたが、人垣に邪魔されずに本当にまじかで　山鉾巡行が見れる後祭
山鉾の数は少し少ないですが、程よい長さ

ふっと感じた日本人の奥底にある記憶を思い起こさせる祇園祭の音と響き
やっぱり祇園祭もそれを思い起こさせてくれる
多くの人達が祇園祭そして京都に惹かれるのもそれだと

今年は新しい発見のあつた祇園祭でした

2015.7.24.　帰りの阪急電車でゆられながら・・・

10番　戦勝凱旋の姿を描く大船鉾

「コンコンチキチン　コンチキチン」　祇園囃子の音が
静まり返った京都の家並にかすかに流れてくる



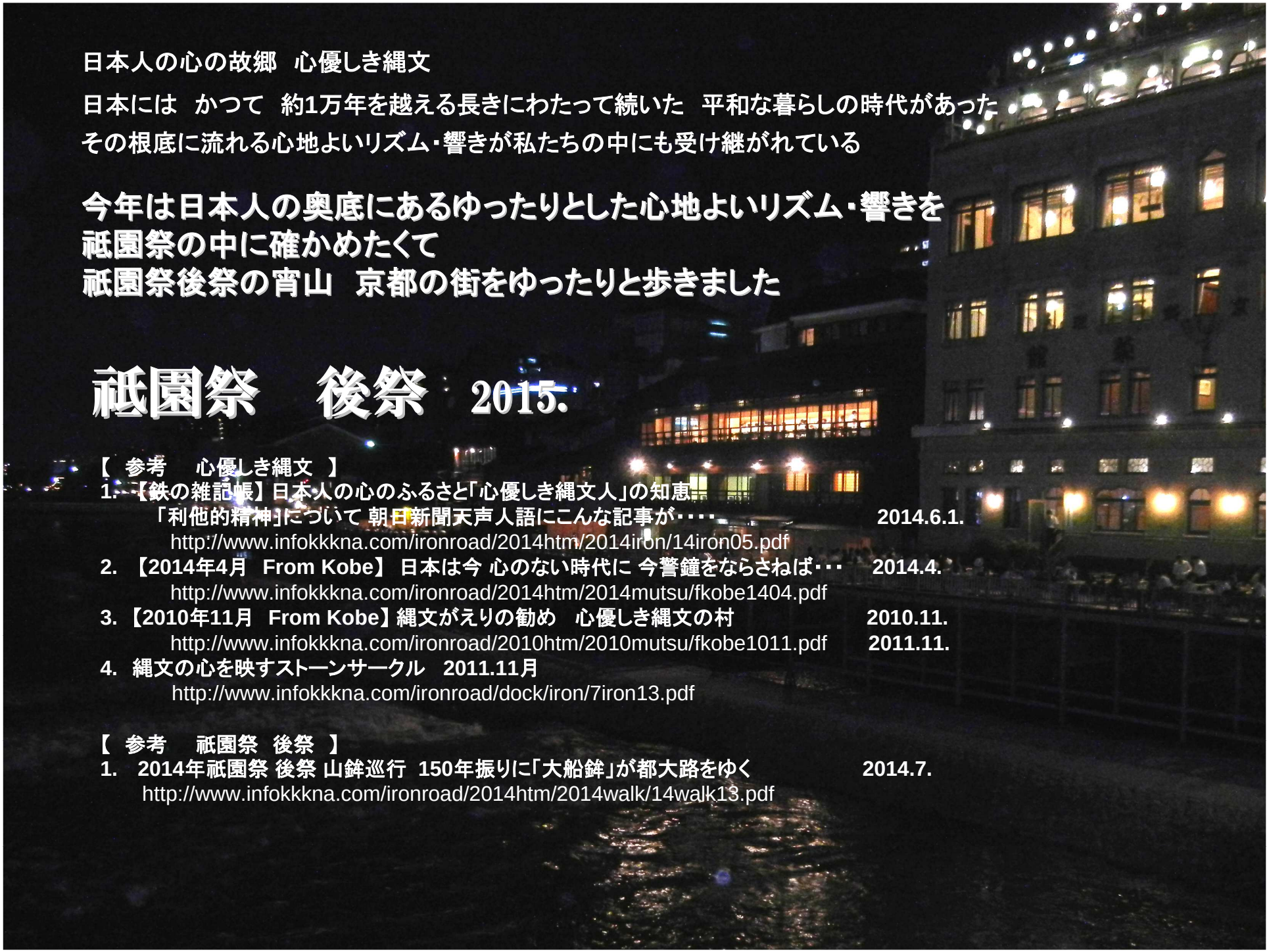
私は　「心優しき日本人の故郷　縄文」とよく言うのですが、
ふと　祇園街　祇園囃子は縄文の響き･リズム　日本人の故郷ではないか…と

雑踏の中で見る大文字の無音の炎
巨木芦生台杉の生命力を育んだ北山杉の森
街のざわめきの中で聞く賀茂川の流れ
街中に点在する神社仏閣の神域空間の音
職人さんたちの下駄の音が街に響く寒い朝
等々にも

京都に多くの人が惹かれるのも
この日本人の奥底にある響き･リズムが　京都には今も随所に残っているからかと

青森三内丸山遺跡のお月見で聞いた縄文
真っ暗な中　岩木川沿いを郷に帰る弘前ねぷたの笛の音
そんな昔からの心地よいリズム･響きが祇園囃子にもある。

今年はそんな日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム･響きを
祇園祭の中に確かめたくて　　祇園祭後祭の宵山　京都の街をゆったりと歩きました



日本人の心の故郷　心優しき縄文

日本には　かつて　約1万年を越える長きにわたって続いた　平和な暮らしの時代があった
その根底に流れる心地よいリズム・響きが私たちの中にも受け継がれている

今年は日本人の奥底にあるゆったりとした心地よいリズム・響きを
祇園祭の中に確かめたくて
祇園祭後祭の宵山　京都の街をゆったりと歩きました

祇園祭　後祭　2015.

【 参考　心優しき縄文 】

1. 【鉄の雑記帳】日本人の心のふるさと「心優しき縄文人」の知恵
「利他的精神」について 朝日新聞天声人語にこんな記事が・・・・ 2014.6.1.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014iron/14iron05.pdf
2. 【2014年4月　From Kobe】 日本は今 心のない時代に 今警鐘をならさねば・・・ 2014.4.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1404.pdf
3. 【2010年11月　From Kobe】縄文がえりの勧め　心優しき縄文の村 2010.11.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/2010mutsu/fkobe1011.pdf 2011.11.
4. 縄文の心を映すストーンサークル　2011.11月
http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron13.pdf

【 参考　祇園祭　後祭 】

1. 2014年祇園祭 後祭 山鉾巡行 150年振りに「大船鉾」が都大路をゆく 2014.7.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2014htm/2014walk/14walk13.pdf